

# (仮称) 滋賀県立高等学校魅力化に向けた学科改編等実施計画の策定について

「これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針」に基づき、魅力化の方向性を示す「魅力化プラン」を策定 → 全ての県立高等学校の魅力化の取組を推進  
今後、「魅力化プラン」に基づき、学科改編等の取組を含め魅力化を推進するため、必要に応じて「実施計画」を策定

## これまでの経緯

令和2年 6月～令和3年10月 滋賀県立高等学校在り方検討委員会 → これからの県立高等学校の在り方について(答申)  
令和4年 3月 「これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本方針」策定

令和4年10月～11月 地域別協議会

滋賀の県立高等学校の魅力化について、市町や中学校、保護者等地域の意見を聴取

令和5年 3月 「滋賀の県立高等学校魅力化プラン」策定

- ・ 全県的視野から各県立高校の魅力化の方向性を示したもの
- ・ 全ての県立高等学校の魅力化の取組を推進

ポイント

【各高校における魅力化の方向性の観点】 各高校ごとに、どこに重点を置くかを位置づけ

地域連携重点

多様な学び重点

高大連携重点

産業教育重点

生活・スポーツ・芸術系重点

魅力と特色ある  
教育活動を推進

## 令和5年度

魅力化プランに基づき、普通科の特色化に向けた学科改編等の取組を推進するため、「地域連携重点」に指定した2校の学科改編に向けた検討を進める。

## 本県の県立普通科高等学校(全日制)を取り巻く現状と課題

### 現状と課題

- 普通科は44校中29校を占める。
- 多様な背景を持つ生徒が在籍している。
- 斉一的・画一的な学びの印象を持たれやすい。
- 普通科高等学校の定員未充足の割合が上昇

全日制高校の定員未充足者数 (人)

入試年度	R3	R4	R5
全日制	188	252	310
普通科	79	151	214
専門学科等	109	101	96

### 普通科改革の必要性

- 生徒の多様な能力・適性、興味・関心等に応じた学びを実現
- 生徒や地域の実情に応じた特色・魅力ある学びを実現
- 生徒が社会の持続的発展に寄与するために必要な資質・能力を育成するための多様な分野の学びを実現

学科改編等も視野に入れて検討を進め、普通科の特色化を図る。

### 検討を進める視点

- 近年の中学生の学習ニーズ等から、早急に魅力化の取組を進めていく必要がある。
- 学校が主体的・意欲的に学校改革を検討している。
- 関係機関や市町等の協力体制など取り組みやすい条件が整っている。
- 県教育委員会と学校は意見交換を繰り返し、実施可能と判断した学校から特色化・魅力化を図る。

### 魅力と活力ある学校

- 学科改編、普通科コース制などの導入
- 特色ある教育活動の充実

### 地域連携重点

伊香高校

守山北高校

- 普通科改革支援事業へ申請、採択
- 関係機関等との協力体制の整備状況
  - ・ 伊香：長浜市、滋賀県立大学(環境) 北部振興施策
  - ・ 守山北：守山市、龍谷大学 びわこ成蹊スポーツ大学

### 国の動き：「普通教育を主とする学科」の弾力化

○学校教育法施行規則等の一部改正(令和4年4月施行)により、「普通教育を主とする学科」として、学際領域に関する学科や地域社会に関する学科等、普通科以外の学科の設置が可能となった。

## スケジュール

### <第1次>

○令和5年度 実施計画の策定、校内に魅力化に係る検討委員会等を立ち上げ、関係者等からの意見を反映させながら魅力化の具体的な方向性を検討  
学科改編に向けて、教育委員会規則を改正

○令和6年度 学校説明会・体験入学等における新しい取組の周知、新学科生徒募集

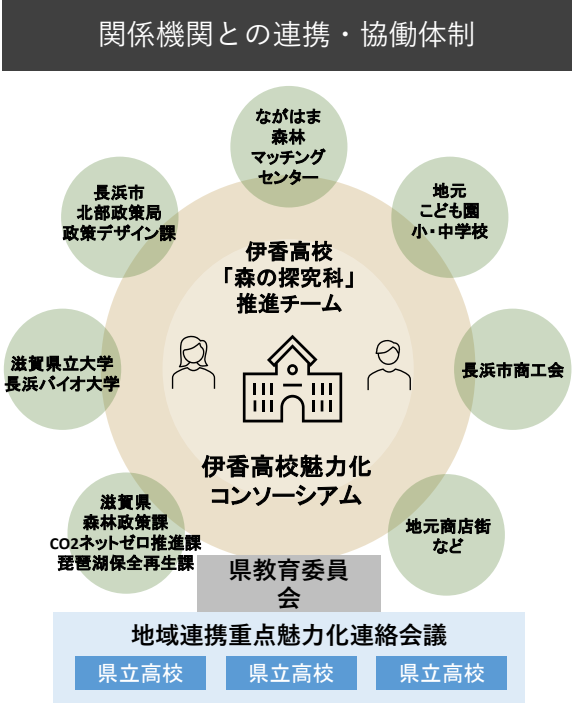
○令和7年度～ 新学科設置等

### <第2次以降> ※必要に応じて

○令和8年度以降の新学科設置等に向けて検討を進める。

【滋賀県立伊香高等学校】（仮称）森の探究科（地域社会学科：令和7年度）

事業の必要性	高校教育改革「魅力化プラン」 ・普通科改革（特色化） ・豊富な地域資源と協働した授業をすすめるため柔軟なカリキュラム構成が必要	立地する長浜市の現状 ・人口減少地域であり、地域に想いをもった人材育成が中長期目線で必要 ・ゼロカーボンシティ宣言	滋賀県の施策 ・「マザーレイクゴールズ」 恵みの豊かな水源の森を守ろう ・「北の近江復興プロジェクト」 挑戦する若者の集う県北部へ
事業コンセプト	滋賀県北部地域の豊かな自然環境、森林資源などを活用し 「森で学ぶ」をコンセプトに、生徒の「生きる力」を地域とともに育む <b>&lt;ゼロ・カーボン・ハイスクール&gt;をめざす</b>		
培う資質能力	人や地域と協働し 新たな創造に向かう <b>課題解決力</b>	自己の思いを伝えながら 他者の多様性を理解する <b>コミュニケーション能力</b>	夢を描き 進路目標を実現する <b>自己実現力</b>



特色・魅力ある教育の概要

**●ポイント**  
 持続可能な社会と琵琶湖に根ざした暮らしの創造、人と自然が共存する循環型社会構築に資する人材育成を図る。また、地域の森林資源などを活かしたまちづくりに関わり、地域活性化との相乗効果を目指す。

- 「森・川・里・湖」が水系でつながる滋賀北部ならではの学び**  
 滋賀県北部は淀川水系の水源であり、豊かな森林や田園環境、人々の暮らしが根づく地域である。それらの地域資源を通して実体験に基づいた幅広い学びを深める。
- 地域内外の専門家と協働した循環型社会に関する実践的な学び**  
 長浜地域には森林サービス産業や環境エネルギーに関連する専門家が数多く活動し市外との交流も活発である。そのような専門家と協働し実践知に基づいた教育プログラムを組み立てる。
- 地元地域や長浜市など地域と連携した学び**  
 高校が所在する木之本や長浜地域は若い移住者も増えており、活発な活動が行われている。そのような活動に高校も参画できるよう情報共有やコーディネート体制を整える。

学びのイメージ

- 長浜市や県庁関係課などの地域行政機関や地域教育機関、商工関係組織、森林関係組織などと連携をし、コンソーシアムを立ち上げる。
- 全体的な方針の審議を行うハイレベル会議と、個別の活動（例：森の探究活動、地域連携活動、保幼小中連携活動、など）を推進する部会の2階層とし、機動的に活動を推進できる体制とする。
- 新学科カリキュラム等を検討する校内推進チームに加え、県と市が協力し設置するコーディネーターが協働し運営を行う。

**学校スローガン(合言葉)**  
**「超えてゆけ」**  
 (今日の自分を超えてゆこう)

【滋賀県立守山北高等学校】

（仮称）みらい共創科

（地域社会学科：令和7年度）



めざす生徒像  
【育成したい力】

多様性を尊重し、他者と協働しながらよりよい地域の未来を創造する人物  
【人を想う心（共感力・自尊感情）、起業家精神（主体性・チャレンジ力）】



モリキタス君

スクール  
ミッション

- ①地域と協働した学びに取り組むことで「人を想う心」を養い、地域の未来を担う人材を育成する学校
- ②地域と連携したキャリア教育を推進するとともに、多様なニーズに応じた教育課程を展開することで、進路希望を実現するために必要な力を育成する学校

「三方よし」の新たな学び

- ◆「地域 × DX × 探究」 → 「みらい共創」=（自分よし、相手よし、みんなよし）
  - ・DXによる個に応じた学びの深化と地域をフィールドにした本物体験で地域の課題や地域の未来の姿を探究し、地域と学校のみらい共創をめざす。
- ◆「ウェルビーイング (well-being)」の視点 → 「豊かな田園都市守山」のまちづくり
  - ・ウェルビーイングの視点で地域課題を探究することで、学びを通じた生徒の成長が多様性を尊重する地域のみらい共創に繋がり、まちづくりに寄与する。

学びのフィールド

1. 地域をフィールドとした学び
  - ◆琵琶湖に近い立地をフィールドとした学び
    - ・琵琶湖（湖岸）、びわこ地球市民の森、野洲川等の自然環境を活かした体験
    - ・琵琶湖をキーワードに環境問題やウェルビーイングの視点からのまちづくり探究
  - ◆行政、地域、産業界、大学等と連携した学び
    - ・産業の観光化、歴史資源の活用、伝統野菜のブランド化、地域スポーツ等の地域の活性化に繋がる取組等の探究を通じた新たな価値の創造
2. ウェルビーイングの充実
  - ◆DXによる個に応じた学びを地域との共創へ
    - ・学び直しや発展的な学習をしたい生徒等個に応じた学びを提供
    - ・DXによる学びと本物体験の学びによる対話的・協働的で深い学び実現
  - ◆オンラインの活用
    - ・オンライン活用により、芸術やスポーツの専門性のある教員や生徒が地域の中学校等とともに活動したり地域や大学等の専門家による指導を受ける。
    - ・生徒や地域住民で創り上げるスポーツ・文化活動への発展

魅力ある学び

1. キャリア形成・主権者教育（総合的な探究の時間）
  - ◆アントレプレナーシップ教育から主権者教育へ
    - ・小中高の連携によるキャリア形成と地元起業家等によるアントレプレナーシップ教育を軸とした主権者教育（地域人材育成）を展開
2. みらい共創（学校設定教科）
  - ◆「地域理解」（1年）⇒「みらい共創」（2年）⇒「キャリア形成」（3年）の学校設定科目
    - ・「地域理解」…地域の自然、歴史、産業等の理解。インターンシップ、エコツーリズム等
    - ・「みらい共創」…地域課題探究、フィールドワーク、企業コラボ学習、DX等
      - 福祉施設、小中学校、NPO等との共創によるインクルーシブな地域社会の探究
    - ・「キャリア形成」…起業プラン・政策提言等の作成、タウンミーティング等
3. DXの推進
  - ◆1人1台端末活用等を発展させた学び・SNS等を活用した情報発信

指導助言  
成果提案

地域連携重点魅力化連絡会議

県教育委員会

滋賀の県立高等学校魅力化プラン

魅力化推進コンソーシアム

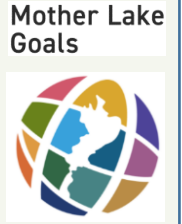
- 滋賀県立大学、龍谷大学  
びわこ成蹊スポーツ大学等
- 守山市：企画政策課、教育委員会  
地元小学校・中学校・高校  
守山市商工観光課、守山商工会議所

- 守山北高校
  - 新学科プロジェクトチーム  
プロジェクトリーダー  
コーディネーター
  - 運営指導委員会

- 民間企業等  
日本政策金融公庫  
NPO法人碧いびわ湖
- 滋賀県：教育委員会  
商工観光労働部  
琵琶湖環境部

守山市  
若い力  
や挑戦  
が集まる  
地方  
創生

- 高校教育  
改革
- 多様な価値観  
ウエルビーイング
- 少子高齢化  
福祉
- 環境問題  
技術革新  
(DX)



## 趣旨

人口減少、少子高齢化やグローバル化、情報化、技術革新の進展等、急速に社会情勢が変化する中で、概ね10年から15年先を見据えて、新しい時代を切り拓く人づくりのため、県立高校の在り方の基本的な考えを示した基本方針を令和4年3月に策定した。

この基本方針に基づき、全県的視野から各県立高校の魅力化の方向性を示す「滋賀の県立高等学校魅力化プラン」を作成し、各県立高校の魅力化の取組を推進する。また今後、このプランに基づき、必要に応じて「実施計画」を策定し、学科改編等に向けた具体的な検討を進める。

## 県立高校の在り方に関する基本方針における取組の方向性

- 確かな学力の育成
- キャリア教育の充実
- 多様な学習ニーズへの対応
- 普通科の特色化（普通科系専門学科を含む）
- 職業系専門学科・総合学科の特色化・高度化
- 定時制／通信制の役割への対応
- 生徒数減少への対応
- ICTの活用
- など

## スクール・ミッションの再定義

- ・高等学校の設置者が、各高等学校が育成しようとする人材などについてスクール・ミッションとして再定義  
※設置者（県）が、各高校等の主体性を重視しながら、連携しつつ再定義

## スクール・ポリシーの策定

- ・高等学校は、3つの方針（スクール・ポリシー）を定め公表
  - 育成を目指す資質・能力に関する方針
  - 教育課程の編成および実施に関する方針
  - 入学者の受け入れに関する方針

## 魅力化プランの作成

（各県立高校の魅力化の方向性の検討）

### 学科、コース等の設置・改編などの検討

- ・普通科の特色化（普通科系専門学科を含む）
- ・職業系専門学科等の特色化・高度化
- ・定時制／通信制の役割への対応
- など

### 【各高校における魅力化の方向性の観点】

各高校ごとに、どこに重点を置くかを位置づけ

地域連携重点

多様な学び重点

産業教育重点

高大連携重点

生活・スポーツ・芸術系重点

反映

連動

修正

フィードバック

# 滋賀の県立高等学校魅力化プラン概要

## 魅力化の方向性の観点

### 地域連携重点

・地域や社会の将来を担う人材の育成を視野に入れ、地域を教育資源とした体験的な学びや、地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な学びに重点的に取り組む。

- ☆ 地域や社会の将来を担う人材育成も視野に入れ、地域の課題解決に向けた学習をする高校
- ☆ フィールドワークを通じ、地域の魅力や課題を学習する学校設定科目のある高校
- ☆ 工業や商業、農業、家庭等の専門学科の視点で地域活性を考える高校
- ☆ スポーツや観光等のレジャーの視点で地域活性を考える高校

### 多様な学び重点

・各校の実情に応じた少人数学級の工夫や、学び直し、日本語学習などのニーズに応える教育活動の展開、学校独自の特徴的な学びの提供など、生徒の様々な学習ニーズに対応した多様な学びに重点的に取り組む。

- ☆ スポーツや芸術等、生徒の興味・関心や進路希望に応じた多くの選択科目がある高校
- ☆ 外部人材を活用し、幅広い視点を育てる高校
- ☆ 地元企業でのインターンシップを取り入れた高校
- ☆ 時間割の工夫などにより基本の定着に重点を置いた授業をする高校
- ☆ 個々の生徒に応じた少人数の習熟度別授業を取り入れた高校
- ☆ 総合単位制普通科高校や通信制高校
- ☆ ICTを活用したオンライン授業、他校と連携した遠隔授業
- ☆ ソーシャルスキル・コミュニケーションスキル習得に係る支援を行う高校
- ☆ 生徒と保護者の生活状況などに配慮しながら日本語支援に取り組む高校

オンリーワンの魅力ある高校  
「夢・想い」をかなえる場所は  
ここにある

### 高大連携重点

・生徒の能力・意欲に応じた教育の実現を目指して、高校生が県内外の大学、企業、研究機関等の教育研究に触れることができる取組を展開するなど、高大連携に重点的に取り組む。

- ☆ 大学や研究機関、海外の高校等と連携・協働して興味ある学問分野の研究ができる高校
- ☆ 文部科学省の事業や県事業の指定を受けて他校にない特色ある学びができる高校
- ☆ 理科や数学の高度な学びができる高校
- ☆ 文系・理系にとらわれず幅広く学べる高校（STEAM教育の取組）
- ☆ データサイエンスや環境エネルギーの基礎が学べる高校
- ☆ 琵琶湖を中心とした自然環境や生態系について学べる高校
- ☆ 教育に関する探究学習に取り組める高校

### 産業教育重点

・職業観や勤労観の育成、産業技術の習得、経済的自立の促進を目的に、農業、工業、商業等に関する実践的、体験的な学習活動を展開する産業教育の推進に重点的に取り組む。

- ☆ 職業上の専門性の基礎を学べる高校
- ☆ 企業と連携しビジネスモデルを開発する学びができる高校（起業家教育）
- ☆ 企業が持つ産業技術や大学等の知識・設備等を生かした学びができる高校

### 生活・スポーツ・芸術系重点

・家庭や保育、福祉などに関する体験的な学習活動により、家庭生活の充実向上を図る能力を育成し、また、レベルの高いスポーツ・芸術活動により、生徒の能力を最大限に引き出す教育の展開を行うなど、県内の拠点となる生活・スポーツ・芸術活動に重点的に取り組む。

- ☆ 体育や音楽等の学科やコースを設置して専門的に学ぶ高校
- ☆ 魅力ある部活動のある高校
- ☆ 保育や福祉の学びができる高校

◆他校との連携による活力の創出

※「☆」は各重点における魅力化の方向性の参考例

全ての県立高等学校の特色ある学び・魅力の発信

## 各県立高校における魅力化の方向性

	大津地域	南部地域	甲賀地域	東近江地域	湖東地域	湖北地域	高島地域
地域連携重点	堅田 大津 瀬田工業 大津商業	湖南農業 守山北	石部 甲西 水口 信楽	八幡 八幡工業 八幡商業 八日市 八日市南 日野	彦根工業 愛知	伊吹 長浜北 伊香 長浜農業	高島 安曇川
多様な学び重点	北大津 【大津清陵 (昼・夜・通)】 【瀬田工業】	草津 栗東 守山北 野洲	石部 甲南 信楽	八幡 能登川 【能登川(昼・夜)】	彦根翔西館 愛知 【彦根工業】	伊吹 伊香 【長浜北星】	安曇川
高大連携重点	膳所 東大津 大津 石山	玉川 草津東 守山	甲西 水口 水口東	八日市	彦根東 河瀬	米原 長浜北 虎姫	高島
産業教育重点	瀬田工業 大津商業 【瀬田工業】	湖南農業 国際情報	甲南 信楽	八幡工業 八幡商業 八日市南 日野	彦根工業 彦根翔西館 【彦根工業】	長浜農業 長浜北星 【長浜北星】	安曇川
生活・ スポーツ・ 芸術系重点	北大津 大津 石山	草津東 栗東 野洲	石部 水口	日野	彦根翔西館 愛知	伊吹 伊香 長浜北星	安曇川

※【 】は定時制・通信制